

令和5年度厚木市公共下水道事業決算の概要

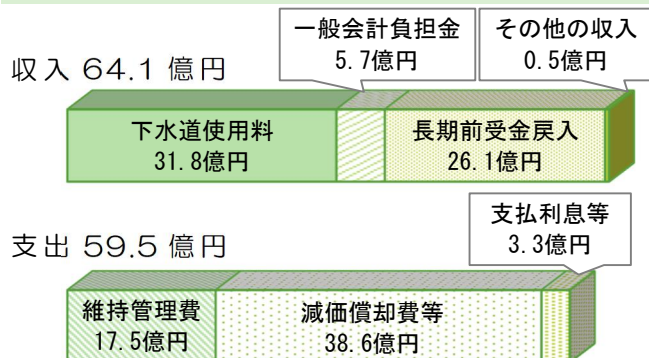
令和3年度に着工した、恩名地区の新しい雨水幹線が完成しました。その他、継続事業を中心とした雨水管整備工事、市街化調整区域の污水管整備工事、管渠の長寿命化・耐震化のための改築工事等を実施しました。

1 業績ハイライト（前年度比較増減）

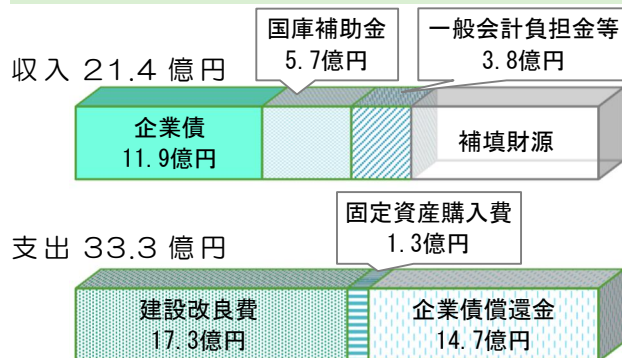
有収水量	2,576万 ³ （＋2万 ³ ）	処理区域内人口一人当たり350.8ℓ/日
維持管理費	16.2億円（－2.1億円）	流域下水道負担金減など（税抜）
投資額	18.7億円（－1.0億円）	管渠建設費減（税込）
収益	61.2億円（＋0.3億円）	雨水処理負担金減、長期前受金戻入増など
費用	57.6億円（－1.6億円）	流域下水道負担金減など
当年度純利益	3.6億円（＋1.9億円）	企業会計移行後、4年連続で純利益計上

2 収支の状況

収益的収入及び支出（税込）

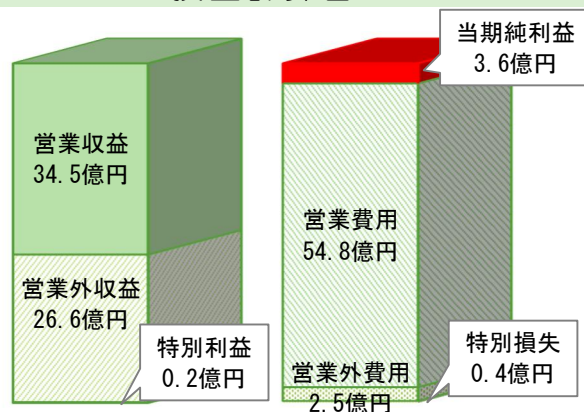


資本的収入及び支出（税込）

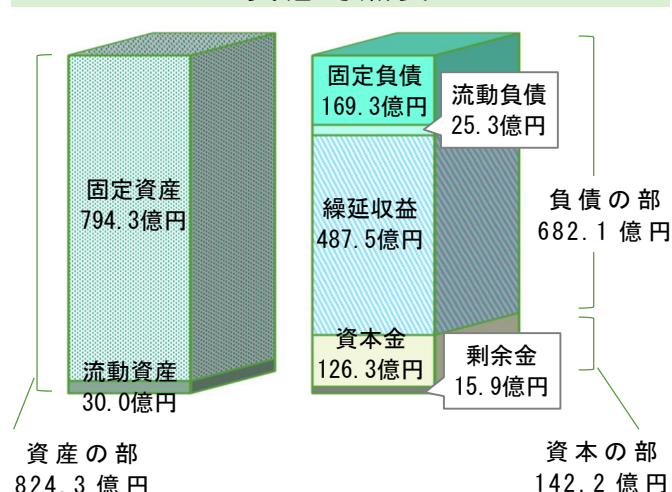


3 財務諸表

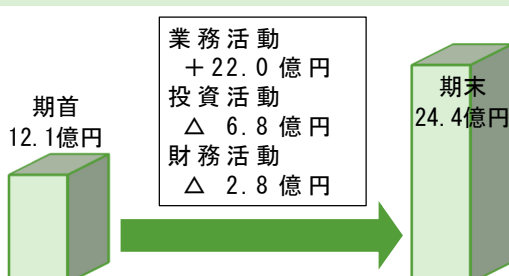
損益計算書



貸借対照表



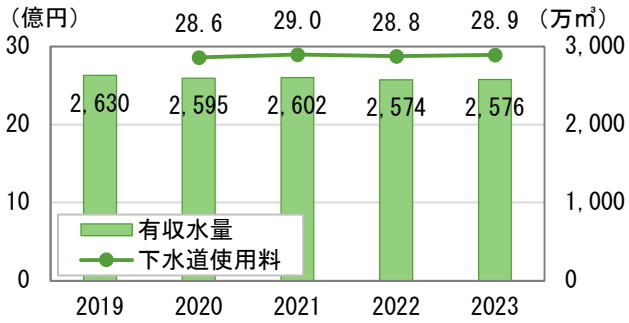
キャッシュ・フロー計算書



注）各数値を四捨五入しているため、合計額等と一致しない場合があります。

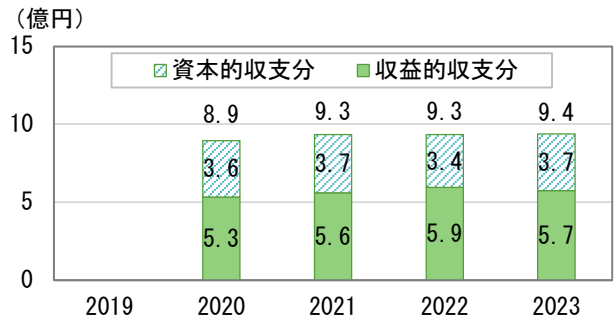
4 経営指標等の推移

有収水量と下水道使用料（収益）



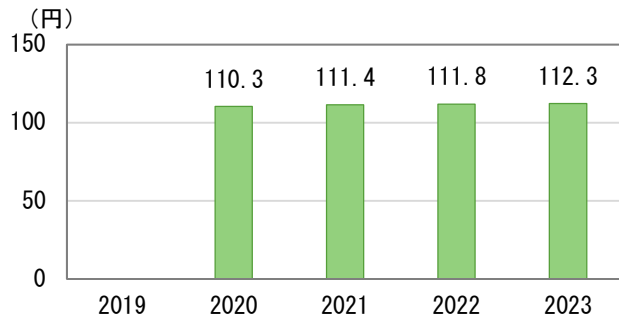
有収水量・下水道使用料ともに、大きな変動はありません。

一般会計からの繰入額



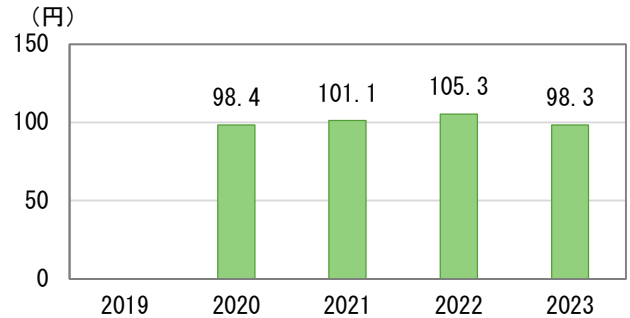
総務省が定めた基準に基づき、一般会計から繰り入れたもので、令和4年度と同程度となりました。

使用料単価



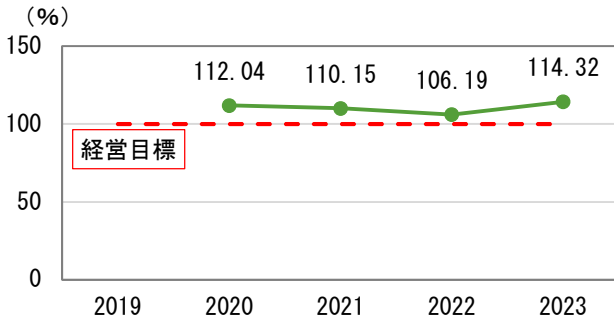
厚木市では、排水量が多いほど単価が高くなる累進性を採用しているため、大規模事業所からの排水量の増加に伴い、0.5円上昇しました。

汚水処理原価



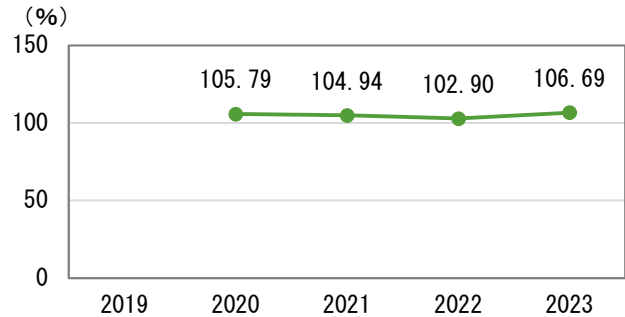
電気料金高騰の影響を受けていた流域下水道負担金が減額となったこと等により、汚水処理費が減少したため、7.0円低下しました。

経費回収率



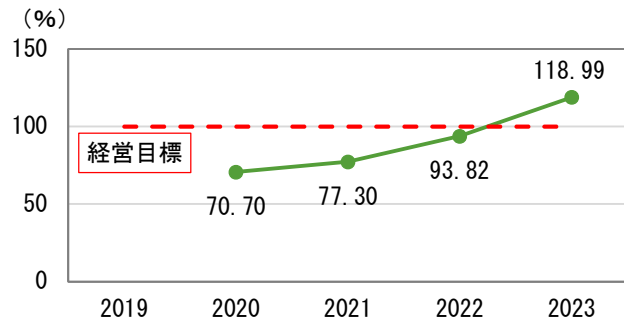
費用の減少により前年度から 8.13 ポイント上昇し、4年連続で経営目標の 100%以上を達成しました。健全な経営状況が保たれています。

経常収支比率



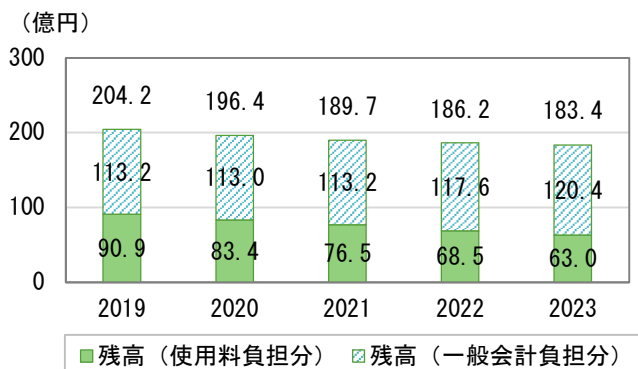
前年度から 3.79 ポイント上昇しました。前年度に引き続き、単年度収支が黒字であることを示す 100%を上回っています。

流動比率



前年度から 25.17 ポイント上昇し、企業会計に移行して以来、初めて経営目標の 100%を上回りました。流動負債 25.3 億円のうち、翌年度に償還する企業債は 14.0 億円です。

企業債残高



汚水管を整備していた時期の企業債の償還が進み、企業債残高は 2.8 億円減少しました。